

<フルインベストメントコース>

第18期末 (2023年7月20日)

基準価額	12,900円
純資産総額	38億円
騰落率	19.5%
分配金	700円

<リスクコントロールコース>

第18期末 (2023年7月20日)

基準価額	11,471円
純資産総額	11億円
騰落率	18.4%
分配金	300円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00~17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ

欧州株式厳選ファンド

フルインベストメントコース/リスクコントロールコース

追加型投信/海外/株式

運用報告書 (全体版)

作成対象期間：2023年1月21日～2023年7月20日

第18期 (決算日 2023年7月20日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ欧州株式厳選ファンド フルインベストメントコース/リスクコントロールコース」は、このたび第18期の決算を行いました。

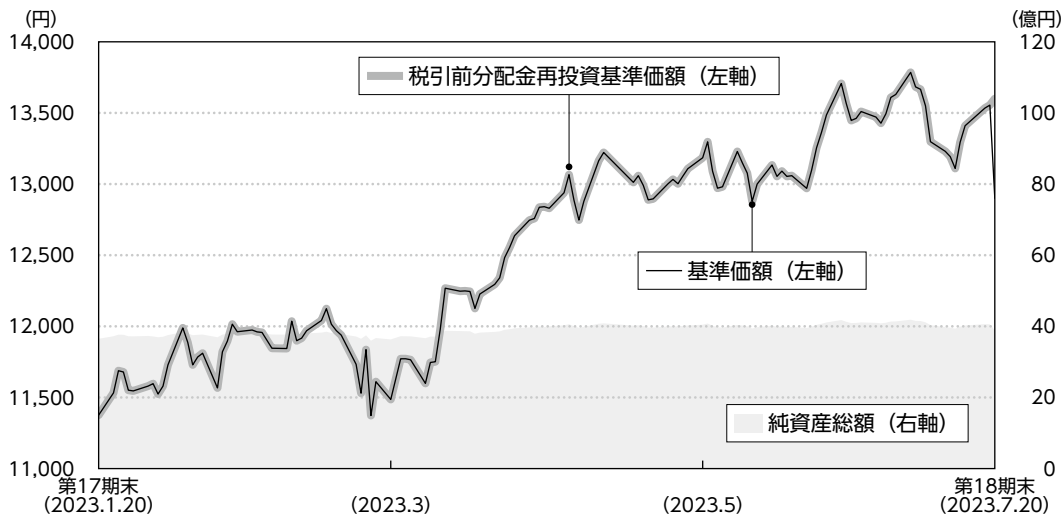
各ファンドは、「ニッセイ欧州株式厳選マザーファンド」受益証券への投資を通じて、欧州各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2023年1月21日～2023年7月20日

基準価額等の推移



第18期首	11,376円	既払分配金	700円
第18期末	12,900円	騰落率 (分配金再投資ベース)	19.5%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 3月下旬から4月下旬にかけて、欧米金融当局による金融危機への対応が早かったことや欧米大手金融機関が堅調な業績であったこと
- ・ 期を通じて見ると、欧州通貨に対して円安が進行したこと

<下落要因>

- ・ 3月上旬から中旬にかけて、米地銀の経営破綻に端を発した金融機関への信用不安により、スイスのクレディ・スイス・グループがUBSに救済合併されるなど金融危機の様相を呈する展開となったこと
- ・ 5月中旬以降、中国の景気回復が想定より弱かったこと

1万口当たりの費用明細

項目	第18期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	117円	0.927%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は12,573円です。
(投信会社)	(58)	(0.464)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(55)	(0.436)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	3	0.022	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$ 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
(株式)	(3)	(0.022)	
有価証券取引税	0	0.000	$\text{有価証券取引税} = \text{期中の有価証券取引税} / \text{期中の平均受益権口数}$ 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
その他費用	5	0.037	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(4)	(0.032)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.004)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	124	0.986	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

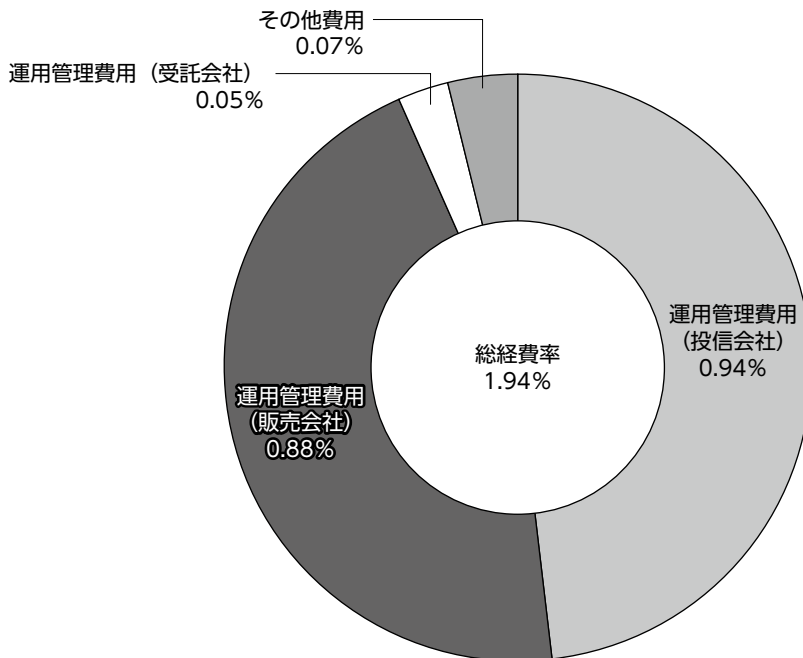
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.94%**です。



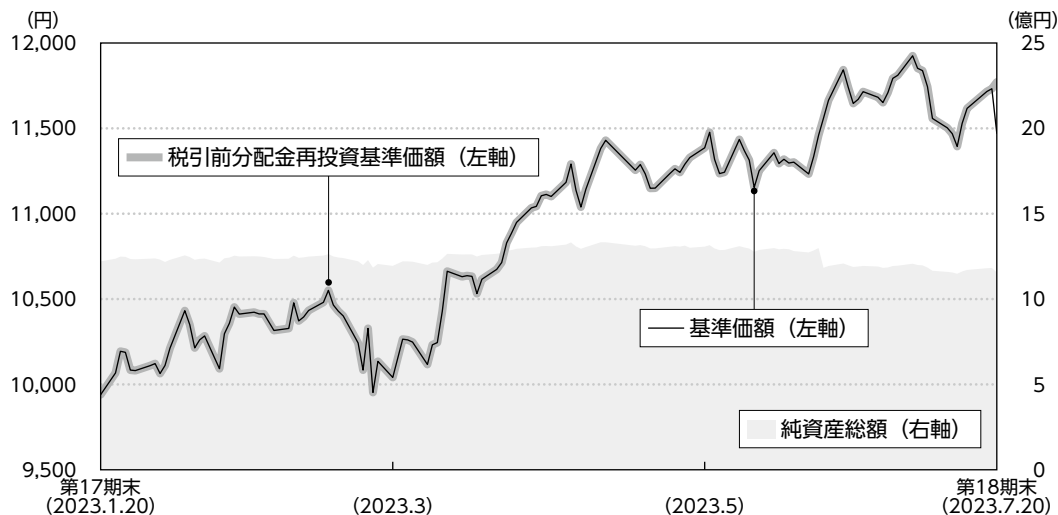
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

基準価額等の推移



第18期首	9,940円	既払分配金	300円
第18期末	11,471円	騰落率 (分配金再投資ベース)	18.4%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 3月下旬から4月下旬にかけて、欧米金融当局による金融危機への対応が早かったことや欧米大手金融機関が堅調な業績であったこと
- ・ 期を通じて見ると、欧州通貨に対して円安が進行したこと

<下落要因>

- ・ 3月上旬から中旬にかけて、米地銀の経営破綻に端を発した金融機関への信用不安により、スイスのクレディ・スイス・グループがU B S に救済合併されるなど金融危機の様相を呈する展開となったこと
- ・ 5月中旬以降、中国の景気回復が想定より弱かったこと

1万口当たりの費用明細

項目	第18期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	101円	0.927%	信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,916円です。
(投信会社)	(51)	(0.464)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(48)	(0.436)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	2	0.018	売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 / 期中の平均受益権口数
(株式)	(2)	(0.018)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 / 期中の平均受益権口数
(株式)	(0)	(0.000)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	4	0.038	その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数
(保管費用)	(3)	(0.028)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(1)	(0.005)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	107	0.983	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

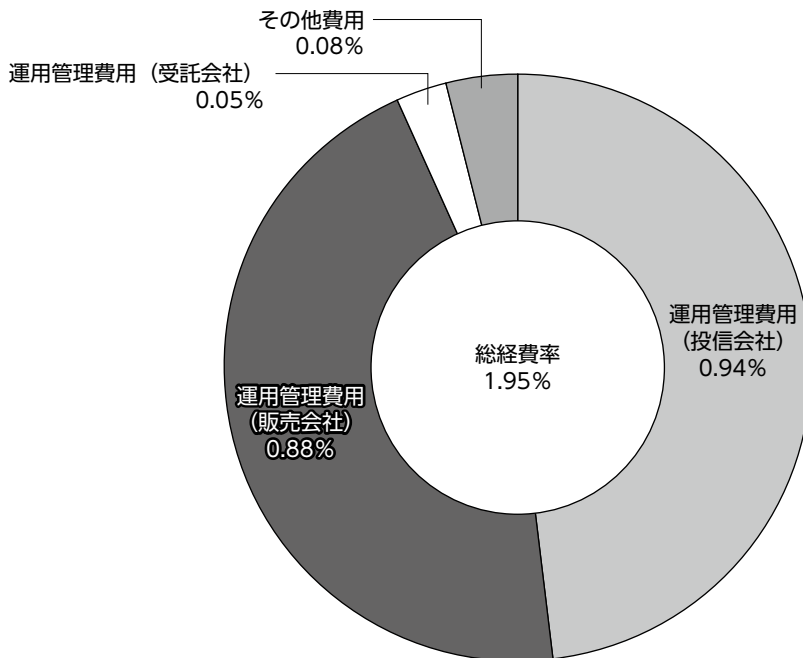
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.95%**です。



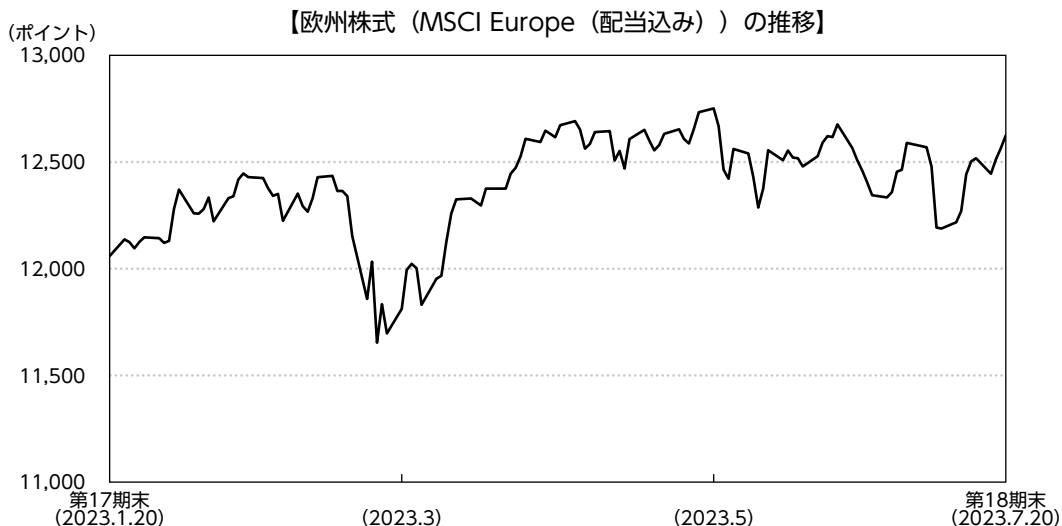
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

欧州株式市況



(注) FactSetのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成しています。

当期の欧州株式市場は上昇しました。

期初以降、インフレ鈍化や懸念されていたほど悪化していない景気動向、中国の経済活動正常化への期待感などから株価は堅調に推移しました。3月中旬に米地銀の経営破綻に端を発した金融機関への信用不安により、スイスのクレディ・スイス・グループがUBSに救済合併されるなど金融危機の様相を呈する展開となったことから投資家のリスク回避姿勢が強まり、株価は下落する場面がありましたが、欧米金融当局による金融危機への対応が早かったことに加え、今後の金融引き締め早期完了期待が高まるかたちで、テクノロジー株をけん引役として再び上昇に転じる展開となりました。その後、主要グローバル企業の良好な業績動向に加え、生成人工知能（AI）の爆発的な成長による恩恵を見込む米半導体企業の業績見通しを手掛かりとしたAI関連銘柄への物色が進み、特に米国の金融引き締め減速により、金融引き締め環境下で大きく下落していた高成長・テクノロジー株の買い戻しとみられる動きが強まりました。一方で、高止まりする域内インフレ率と欧州中央銀行（ECB）による利上げ継続見通しや域内景気の減速、中国の景気回復の鈍さなどが嫌気され、株価は一進一退の動きで当期末を迎えました。

ポートフォリオ

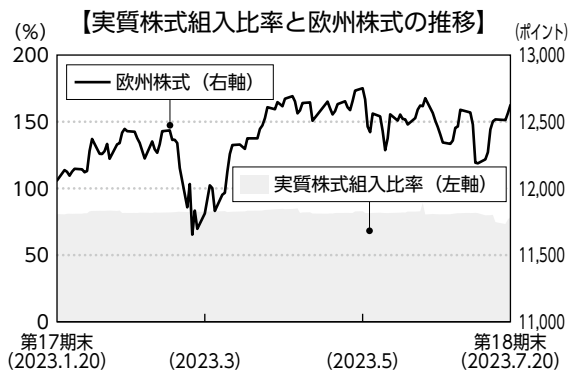
■フルインベストメントコース

マザーファンド受益証券への投資を通じて、欧州各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。またマザーファンド受益証券の組入比率は原則として高位を保ちました。

■リスクコントロールコース

マザーファンド受益証券への投資を通じて、欧州各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

当期は実質的な株式組入比率を高位に維持しました。



(注1) 実質株式組入比率は対純資産総額比です。

(注2) 欧州株式はMSCI Europe (配当込み) で、FactSetのデータをもとに、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

■マザーファンド

欧州各国の株式を主要投資対象とし、銘柄選定にあたっては自己資本利益率 (ROE) の水準および変化等に着目し、経営効率に優れ利益成長力を有する銘柄に投資を行いました。

当期末の組入銘柄は、いずれも経営効率に優れ、世界的に事業を展開する企業を上位に保有しており、事業の集中やブランド力により収益性が高く経営効率に優れている企業を中心としています。

業種配分については、一般消費財・サービスやヘルスケア、資本財・サービスの組入比率が高く、エネルギーや不動産の組み入れはありません。

(注) 業種はGICS分類 (セクター) によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。以下同じです。

ベンチマークとの差異

■フルインベストメントコース

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、欧州各国の株式の中から、株価上昇が期待される銘柄に厳選して投資を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことからベンチマークなどを設けていません。

■リスクコントロールコース

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、欧州各国の株式の中から、株価上昇が期待される銘柄に厳選して投資を行い、株価指数先物取引の活用等により、実質的な株式の組入比率を0～100%の範囲内でコントロールします。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことからベンチマークなどを設けていません。

分配金

■フルインベストメントコース

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2023年1月21日~2023年7月20日
当期分配金（税引前）	700円
対基準価額比率	5.15%
当期の収益	700円
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	2,907円

■リスクコントロールコース

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2023年1月21日~2023年7月20日
当期分配金（税引前）	300円
対基準価額比率	2.55%
当期の収益	300円
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	1,494円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■フルインベストメントコース

マザーファンド受益証券への投資を通じて、欧州各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。またマザーファンド受益証券の組入比率は原則として高位を保ちます。

■リスクコントロールコース

マザーファンド受益証券への投資を通じて、欧州各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。株価指数先物取引の活用等により、実質的な株式の組入比率を0～100%の範囲でコントロールします。

■マザーファンド

投資視点において注目すべきことは、世界的に見ても優れた経営効率と経営への確かな執行能力を持つ企業への厳選した投資であると考えています。気候変動に対する取り組みは、欧州を代表する企業がリードするかたちで展開しており、企業価値改善につながる取り組みを先進的に進めています。当マザーファンドで組入比率が高い資本財・サービスなどの業種では、気候変動対応などサステナビリティ（持続可能性）への取り組みをけん引し、さらにROEの改善が続くと予想しており、多くの投資機会と十分に高い投資魅力があると判断しています。

当マザーファンドでは引き続き、企業の経営効率に着目し、企業規模などを問わず、今後の株価上昇に対する確信度の高い銘柄を厳選して投資し、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

ファンドデータ

ニッセイ欧州株式厳選ファンド フルインベストメントコースの組入資産の内容

■ 組入ファンド

	第18期末 2023年7月20日
ニッセイ欧州株式厳選マザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

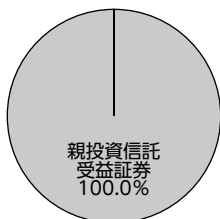
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■ 純資産等

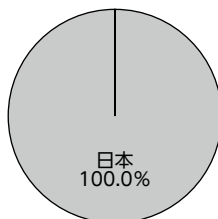
項目	第18期末 2023年7月20日
純資産総額	3,887,238,244円
受益権総口数	3,013,401,462口
1万口当たり基準価額	12,900円

(注) 当期間中における追加設定元本額は71,083,543円、同解約元本額は265,922,197円です。

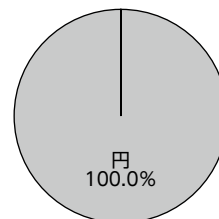
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年7月20日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ欧州株式厳選ファンド リスクコントロールコースの組入資産の内容

組入ファンド

	第18期末 2023年7月20日
ニッセイ欧州株式厳選マザーファンド	83.3%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

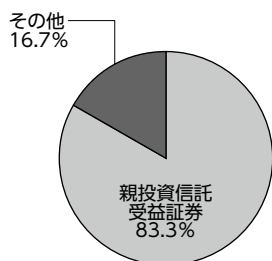
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

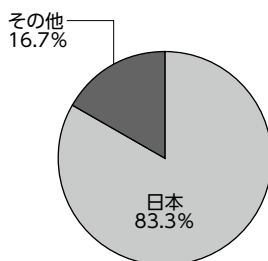
項目	第18期末 2023年7月20日
純資産総額	1,155,871,957円
受益権総口数	1,007,650,450口
1万口当たり基準価額	11,471円

(注) 当期間中における追加設定元本額は431,894円、同解約元本額は220,838,955円です。

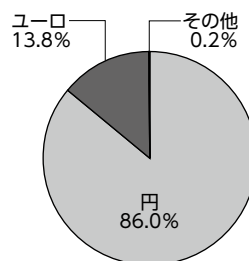
資産別配分



国別配分



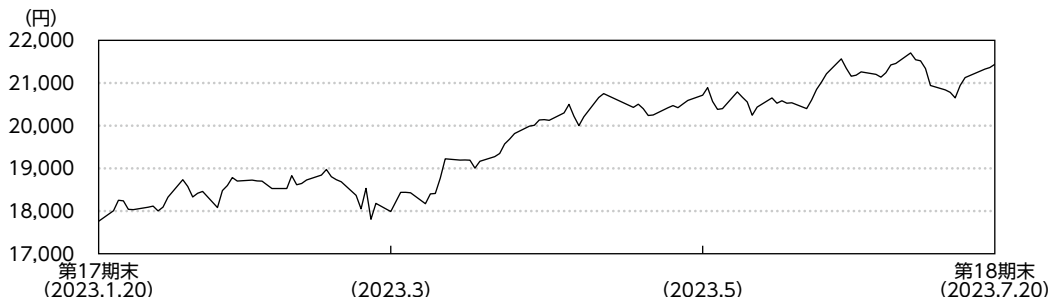
通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年7月20日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ欧州株式厳選マザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

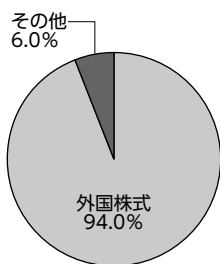
銘柄名	通貨	比率
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	ユーロ	8.4%
NOVO-NORDISK A/S	デンマーク・クローネ	8.0
DASSAULT SYSTEMES SA	ユーロ	5.9
RELX PLC	ユーロ	4.5
PARTNERS GROUP HOLDING AG	スイス・フラン	4.4
ATLAS COPCO AB-A SHS	スウェーデン・クローナ	3.8
FERRARI NV	ユーロ	3.7
COLOPLAST-B	デンマーク・クローネ	3.5
AMADEUS IT GROUP SA	ユーロ	3.4
ROCHE HOLDING AG	スイス・フラン	3.2
組入銘柄数		41

■ 1万口当たりの費用明細

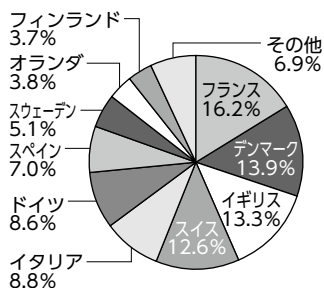
2023.1.21~2023.7.20

項目	金額
売買委託手数料 (株式)	4円 (4)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	6 (6) (0)
合計	11

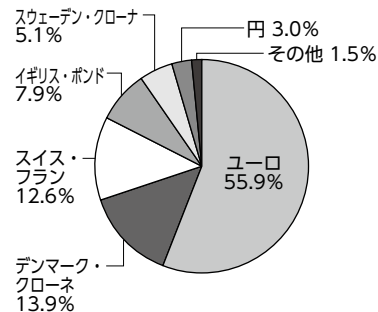
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2023年7月20日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	株式 組入比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金		
14期 (2021年7月20日)	円 12,233	円 700	% 17.1	円 14,333	% 95.6	百万円 4,959
15期 (2022年1月20日)	12,059	600	3.5	14,759	94.5	4,522
16期 (2022年7月20日)	11,586	300	△ 1.4	14,586	95.6	4,040
17期 (2023年1月20日)	11,376	400	1.6	14,776	94.3	3,649
18期 (2023年7月20日)	12,900	700	19.5	17,000	94.1	3,887

(注1) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額(分配落)に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	株式 組入比率
			%
(期首) 2023年1月20日	円 11,376	% -	% 94.3
1月末	11,597	1.9	94.5
2月末	12,036	5.8	96.0
3月末	12,268	7.8	95.4
4月末	12,879	13.2	93.0
5月末	13,077	15.0	94.5
6月末	13,630	19.8	95.0
(期末) 2023年7月20日	13,600	19.5	94.1

(注) 期末基準価額は分配金(税引前)込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2023年1月21日～2023年7月20日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイ欧州株式厳選マザーファンド	45,319	90,108	286,482	581,847

(注) 単位未満は切り捨てています。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ニッセイ欧州株式厳選マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	721,615千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,745,272千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	0.15

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 外国株式の(a)は各月末(決算日の属する月については決算日)、(b)は各月末の国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2023年1月21日～2023年7月20日

当期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2023年7月20日現在

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイ欧州株式厳選マザーファンド	2,054,854	1,813,691	3,888,192

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるニッセイ欧州株式厳選マザーファンド全体の口数は2,262,757千口です。

投資信託財産の構成

2023年7月20日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
ニッセイ欧州株式厳選マザーファンド	千円 3,888,192	% 93.7
コール・ローン等、その他	259,355	6.3
投資信託財産総額	4,147,547	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお7月20日における邦貨換算レートは、1米ドル139.70円、1イギリス・ポンド180.87円、1スイス・フラン162.92円、1トルコ・リラ5,199円、1デンマーク・クローネ21.03円、1ノルウェー・クローネ13.94円、1スウェーデン・クローナ13.63円、1ユーロ156.73円です。

(注2) ニッセイ欧州株式厳選マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（4,705,132千円）の投資信託財産総額（5,075,028千円）に対する比率は92.7%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年7月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	4,147,547,365円
コール・ローン等	35,288,656
ニッセイ欧州株式厳選マザーファンド(評価額)	3,888,192,337
未収入金	224,066,372
(B) 負債	260,309,121
未払収益分配金	210,938,102
未払解約金	12,971,792
未払信託報酬	36,233,695
その他未払費用	165,532
(C) 純資産総額(A-B)	3,887,238,244
元本	3,013,401,462
次期繰越損益金	873,836,782
(D) 受益権総口数	3,013,401,462口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,900円

(注) 期首元本額 3,208,240,116円
 期中追加設定元本額 71,083,543円
 期中一部解約元本額 265,922,197円

損益の状況

当期(2023年1月21日~2023年7月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 4,368円
受取利息	281
支払利息	△ 4,649
(B) 有価証券売買損益	697,566,586
売買益	730,292,966
売買損	△ 32,726,380
(C) 信託報酬等	△ 36,399,325
(D) 当期損益金(A+B+C)	661,162,893
(E) 前期繰越損益金	315,085,481
(分配準備積立金)	(339,606,746)
(繰越欠損金)	(△ 24,521,265)
(F) 追加信託差損益金*	108,526,510
(配当等相当額)	(110,569,181)
(売買損益相当額)	(△ 2,042,671)
(G) 合計(D+E+F)	1,084,774,884
(H) 収益分配金	△ 210,938,102
次期繰越損益金(G+H)	873,836,782
追加信託差損益金	108,526,510
(配当等相当額)	(110,713,191)
(売買損益相当額)	(△ 2,186,681)
分配準備積立金	765,310,272

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	51,802,521円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	584,839,107円
(c) 信託約款に定める収益調整金	110,713,191円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	339,606,746円
(e) 分配対象額(a + b + c + d)	1,086,961,565円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	3,607.09円
(g) 分配金	210,938,102円
(h) 分配金(1万口当たり)	700円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金			
14期 (2021年7月20日)	円 10,722	円 200	% 15.5	円 10,922	% 85.0	% -	百万円 1,972
15期 (2022年1月20日)	10,853	200	3.1	11,253	83.2	-	1,666
16期 (2022年7月20日)	10,207	0	△ 6.0	10,607	80.5	△78.6	1,375
17期 (2023年1月20日)	9,940	0	△ 2.6	10,340	80.7	-	1,220
18期 (2023年7月20日)	11,471	300	18.4	12,171	78.3	-	1,155

(注1) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額(分配落)に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

(注4) 先物比率は買建比率-売建比率です。以下同じです。

(注5) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	株式		
		騰落率	組入比率	先物比率
(期首) 2023年1月20日	円 9,940	% -	% 80.7	% -
1月末	10,122	1.8	81.4	-
2月末	10,478	5.4	82.0	-
3月末	10,663	7.3	82.5	-
4月末	11,143	12.1	82.0	-
5月末	11,314	13.8	81.5	-
6月末	11,811	18.8	81.4	-
(期末) 2023年7月20日	11,771	18.4	78.3	-

(注) 期末基準価額は分配金(税引前)込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2023年1月21日～2023年7月20日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイ欧州株式厳選マザーファンド	千口 -	千円 -	千口 139,276	千円 287,000

(注) 単位未満は切り捨てています。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ニッセイ欧州株式厳選マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	721,615千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,745,272千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	0.15

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 外国株式の(a)は各月末(決算日の属する月については決算日)、(b)は各月末の国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2023年1月21日～2023年7月20日

当期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2023年7月20日現在

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイ欧州株式厳選マザーファンド	千口 588,342	千口 449,066	千円 962,707

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるニッセイ欧州株式厳選マザーファンド全体の口数は2,262,757千口です。

投資信託財産の構成

2023年7月20日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
ニッセイ欧州株式厳選マザーファンド	962,707	80.4%
コール・ローン等、その他	235,045	19.6%
投資信託財産総額	1,197,753	100.0%

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお7月20日における邦貨換算レートは、1米ドル139.70円、1イギリス・ポンド180.87円、1スイス・フラン162.92円、1トルコ・リラ5.199円、1デンマーク・クローネ21.03円、1ノルウェー・クローネ13.94円、1スウェーデン・クローナ13.63円、1ユーロ156.73円です。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (161,839千円) の投資信託財産総額 (1,197,753千円) に対する比率は13.5%です。ニッセイ欧州株式厳選マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (4,705,132千円) の投資信託財産総額 (5,075,028千円) に対する比率は92.7%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年7月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	1,197,753,430円
コール・ローン等	75,173,435
ニッセイ欧州株式厳選マザーファンド(評価額)	962,707,847
差入委託証拠金	159,872,148
(B) 負債	41,881,473
未払収益分配金	30,229,513
未払信託報酬	11,587,913
その他未払費用	64,047
(C) 純資産総額(A-B)	1,155,871,957
元本	1,007,650,450
次期繰越損益金	148,221,507
(D) 受益権総口数	1,007,650,450口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,471円

(注) 期首元本額	1,228,057,511円
期中追加設定元本額	431,894円
期中一部解約元本額	220,838,955円

損益の状況

当期 (2023年1月21日~2023年7月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益	1,031,000円
受取利息	34,699
その他収益	1,003,446
支払利息	△ 7,145
(B) 有価証券売買損益	195,190,283
売買益	220,491,775
売買損	△ 25,301,492
(C) 信託報酬等	△ 11,720,568
(D) 当期損益金(A+B+C)	184,500,715
(E) 前期繰越損益金	△ 6,505,912
(分配準備積立金)	(87,246,930)
(繰越欠損金)	(△ 93,752,842)
(F) 追加信託差損益金*	456,217
(配当等相当額)	(2,813,633)
(売買損益相当額)	(△ 2,357,416)
(G) 合計(D+E+F)	178,451,020
(H) 収益分配金	△ 30,229,513
次期繰越損益金(G+H)	148,221,507
追加信託差損益金	456,217
(配当等相当額)	(2,814,586)
(売買損益相当額)	(△ 2,358,369)
分配準備積立金	147,765,290

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	14,087,725円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	76,660,148円
(c) 信託約款に定める収益調整金	2,814,586円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	87,246,930円
(e) 分配対象額(a + b + c + d)	180,809,389円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	1,794.37円
(g) 分配金	30,229,513円
(h) 分配金(1万口当たり)	300円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

各ファンドの概要

		フルインベストメントコース	リスクコントロールコース
商品分類	信託期間	追加型投信／海外／株式	
		2014年7月17日～2025年7月22日	
運用方針		<ul style="list-style-type: none"> ・ニッセイ欧州株式厳選マザーファンド受益証券への投資を通じて、欧州各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。 ・原則として、実質的な株式の組入比率は高位を保ちます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニッセイ欧州株式厳選マザーファンド受益証券への投資を通じて、欧州各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。 ・株価指数先物取引の活用等により、実質的な株式の組入比率を0～100%の範囲内でコントロールします。
主要運用対象	ニッセイ欧州株式厳選ファンド	ニッセイ欧州株式厳選マザーファンド受益証券	
	ニッセイ欧州株式厳選マザーファンド	欧州各国の株式	
運用方法	ニッセイ欧州株式厳選ファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 	
	ニッセイ欧州株式厳選マザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 	
分配方針		毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。	

ニッセイ欧州株式厳選 マザーファンド

運用報告書

第 18 期

(計算期間：2023年1月21日～2023年7月20日)

運用方針

- ①主に欧州各国の株式へ投資を行い、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。
- ②銘柄選定にあたっては、ROE（自己資本利益率）の水準および変化等に着眼し、経営効率に優れ利益成長力を有する銘柄に投資を行います。
- ③外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

主要運用 対象

欧州各国の株式

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。

- ・株式への投資割合には、制限を設けません。
- ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



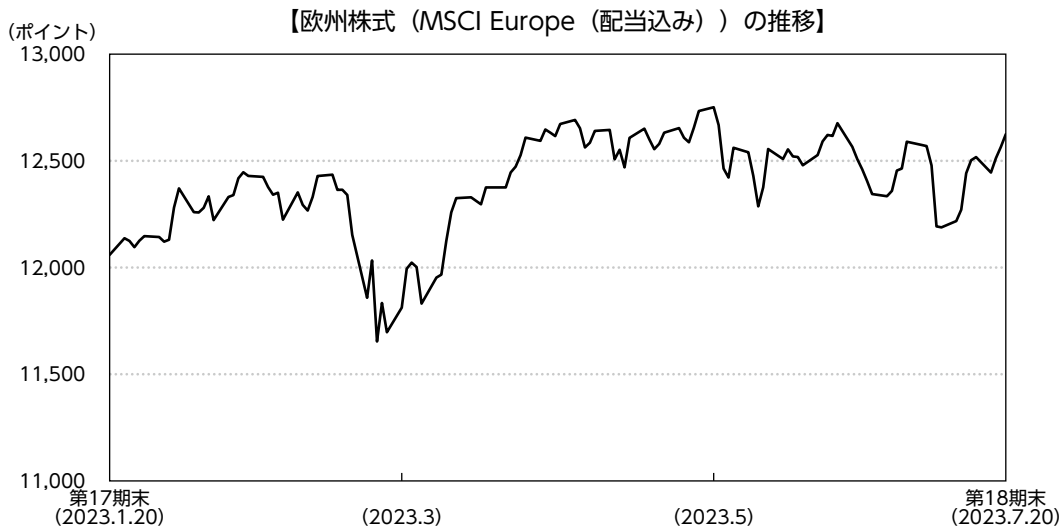
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2023年1月21日～2023年7月20日

欧州株式市況

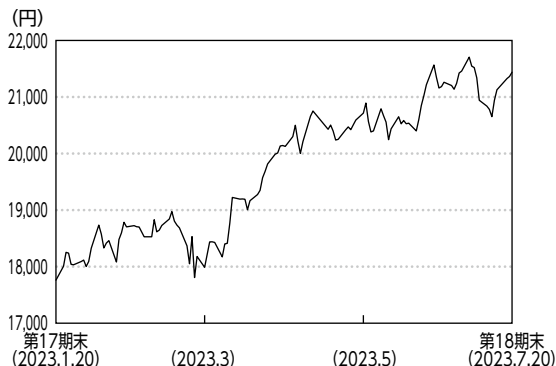


(注) FactSetのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成しています。

当期の欧州株式市場は上昇しました。

期初以降、インフレ鈍化や懸念されていたほど悪化していない景気動向、中国の経済活動正常化への期待感などから株価は堅調に推移しました。3月中旬に米地銀の経営破綻に端を発した金融機関への信用不安により、スイスのクレディ・スイス・グループがU B Sに救済合併されるなど金融危機の様相を呈する展開となったことから投資家のリスク回避姿勢が強まり、株価は下落する場面がありましたが、欧米金融当局による金融危機への対応が早かったことに加え、今後の金融引き締め早期完了期待が高まるかたちで、テクノロジー株をけん引役として再び上昇に転じる展開となりました。その後、主要グローバル企業の良好な業績動向に加え、生成人工知能 (A I) の爆発的な成長による恩恵を見込む米半導体企業の業績見通しを手掛かりとしたA I関連銘柄への物色が進み、特に米国の金融引き締め減速により、金融引き締め環境下で大きく下落していた高成長・テクノロジー株の買い戻しとみられる動きが強まりました。一方で、高止まりする域内インフレ率と欧州中央銀行 (E C B) による利上げ継続見通しや域内景気の減速、中国の景気回復の鈍さなどが嫌気され、株価は一進一退の動きで当期末を迎えました。

基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 3月下旬から4月下旬にかけて、欧米金融当局による金融危機への対応が早かったことや欧米大手金融機関が堅調な業績であったこと
- ・ 期を通じて見ると、欧州通貨に対して円安が進行したこと

<下落要因>

- ・ 3月上旬から中旬にかけて、米地銀の経営破綻に端を発した金融機関への信用不安により、スイスのクレディ・スイス・グループがUBSに救済合併されるなど金融危機の様相を呈する展開となったこと
- ・ 5月中旬以降、中国の景気回復が想定より弱かったこと

ポートフォリオ

欧州各国の株式を主要投資対象とし、銘柄選定にあたっては自己資本利益率（ROE）の水準および変化等に着目し、経営効率に優れ利益成長力を有する銘柄に投資を行いました。

当期末の組入銘柄は、いずれも経営効率に優れ、世界的に事業を展開する企業を上位に保有しており、事業の集中やブランド力により収益性が高く経営効率に優れている企業を中心としています。

業種配分については、一般消費財・サービスやヘルスケア、資本財・サービスの組入比率が高く、エネルギーや不動産の組み入れはありません。

(注) 業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。以下同じです。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、欧州各国の株式の中から、株価上昇が期待される銘柄に厳選して投資を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことからベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

投資視点において注目すべきことは、世界的に見ても優れた経営効率と経営への確かな執行能力を持つ企業への厳選した投資であると考えています。気候変動に対する取り組みは、欧州を代表する企業がリードするかたちで展開しており、企業価値改善につながる取り組みを先進的に進めています。当マザーファンドで組入比率が高い資本財・サービスなどの業種では、気候変動対応などサステナビリティ（持続可能性）への取り組みをけん引し、さらにROEの改善が続くと予想しており、多くの投資機会と十分に高い投資魅力があると判断しています。

当マザーファンドでは引き続き、企業の経営効率に着目し、企業規模などを問わず、今後の株価上昇に対する確信度の高い銘柄を厳選して投資し、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中 騰落率	株式 組入比率	純資産 総額
	円	%	%	百万円
14期 (2021年7月20日)	16,660	18.1	95.6	6,713
15期 (2022年1月20日)	17,392	4.4	95.3	5,938
16期 (2022年7月20日)	17,325	△ 0.4	95.6	5,199
17期 (2023年1月20日)	17,761	2.5	94.3	4,694
18期 (2023年7月20日)	21,438	20.7	94.0	4,850

(注) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	株式 組入比率
(期首) 2023年 1月20日	円 17,761	% -	% 94.3
1月末	18,116	2.0	94.5
2月末	18,830	6.0	96.0
3月末	19,224	8.2	95.4
4月末	20,209	13.8	93.0
5月末	20,556	15.7	94.4
6月末	21,458	20.8	95.0
(期末) 2023年 7月20日	21,438	20.7	94.0

(注) 騰落率は期首比です。

1 万口当たりの費用明細

2023年1月21日～2023年7月20日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料 (株式)	4円 (4)	0.021% (0.021)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.000 (0.000)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用)	6 (6)	0.032 (0.032)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	11	0.054	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（19,735円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2023年1月21日～2023年7月20日

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外国	アメリカ	百株 —	千米ドル —	百株 2	千米ドル 29
	イギリス	—	千イギリス・ポンド —	113	千イギリス・ポンド 242
	スイス	— (38)	千スイス・フラン —	19	千スイス・フラン 549
	デンマーク	—	千デンマーク・クローネ —	87	千デンマーク・クローネ 7,114
	スウェーデン	—	千スウェーデン・クローナ —	175	千スウェーデン・クローナ 2,779

ニッセイ欧州株式厳選マザーファンド

		買付		売付		
		株数	金額	株数	金額	
外国	ユーロ	オランダ	百株 － (10)	千ユーロ －	百株 142	千ユーロ 688
		ベルギー	－	－	26	19
		フランス	－	－	76	751
		ドイツ	－	－ (△26)	85	408
		スペイン	－	－	89	327
		イタリア	－	－	186	236
		フィンランド	－	－	42	194

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は株式分割、合併などによる増減分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 地域は発行通貨によって区分しています。以下同じです。

(注4) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2023年1月21日～2023年7月20日

株式

銘柄	買付			銘柄	売付		
	株数	金額	平均単価		株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
－	－	－	－	NOVO-NORDISK A/S	4	99,782	21,630
				LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	0.467	62,554	133,950
				DASSAULT SYSTEMES SA	6	39,995	6,038
				RELX PLC	7	32,381	4,572
				PARTNERS GROUP HOLDING AG	0.208	27,837	133,834
				ATLAS COPCO AB-A SHS	14	27,575	1,964
				COLOPLAST-B	1	26,788	17,717
				FERRARI NV	0.605	25,808	42,659
				AMADEUS IT GROUP SA	2	24,414	10,189
				ROCHE HOLDING AG	0.529	22,754	43,015

(注1) 金額は受渡代金で、外国株式は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

組入有価証券明細表

2023年7月20日現在

外国株式

銘柄		期首(前期末)		当期末		業種等	
		株数	株数	評価額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)			百株	百株	千米ドル	千円	
RYANAIR HOLDINGS PLC			21	18	201	28,146	運輸
小計	株数・金額 銘柄数<比率>		21 1	18 1	201 -	28,146 <0.6%>	
(イギリス)					千イギリス・ポンド		
BRITVIC PLC			633	549	485	87,778	食品・飲料・タバコ
CRODA INTERNATIONAL PLC			79	68	401	72,598	素材
INTERCONTINENTAL HOTELS GROUP PLC			144	125	690	124,970	消費者サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>		857 3	743 3	1,577 -	285,347 <5.9%>	
(スイス)					千スイス・フラン		
GIVAUDAN-REG			1	1	419	68,294	素材
NESTLE SA			40	34	364	59,394	食品・飲料・タバコ
PARTNERS GROUP HOLDING AG			15	13	1,304	212,465	金融サービス
ROCHE HOLDING AG			40	34	944	153,819	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SGS SOCIETE GENERALE SURVEILLANCE			1	34	282	46,071	商業・専門サービス
SWISSCOM AG			9	8	445	72,514	電気通信サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>		108 6	127 6	3,759 -	612,561 <12.6%>	
(デンマーク)					千デンマーク・クローネ		
COLOPLAST-B			114	98	7,966	167,530	ヘルスケア機器・サービス
NOVO-NORDISK A/S			218	172	18,393	386,823	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NOVOZYMES A/S			196	170	5,769	121,336	素材
小計	株数・金額 銘柄数<比率>		529 3	442 3	32,129 -	675,691 <13.9%>	
(スウェーデン)					千スウェーデン・クローナ		
ATLAS COPCO AB-A SHS			1,063	923	13,464	183,522	資本財
EPIROC AB-A			268	232	4,635	63,184	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>		1,332 2	1,156 2	18,100 -	246,707 <5.1%>	
(ユーロ/オランダ)					千ユーロ		
ASML HOLDING NV			12	10	698	109,528	半導体・半導体製造装置
FERRARI NV			45	39	1,145	179,594	自動車・自動車部品
KONINKLIJKE PHILIPS NV			253	229	469	73,625	ヘルスケア機器・サービス
RELX PLC			536	465	1,377	215,944	商業・専門サービス
UNILEVER NV			225	195	917	143,874	家庭用品・パーソナル用品
小計	株数・金額 銘柄数<比率>		1,072 5	940 5	4,610 -	722,567 <14.9%>	
(ユーロ/ベルギー)							
PROXIMUS			201	174	126	19,785	電気通信サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>		201 1	174 1	126 -	19,785 <0.4%>	

ニッセイ欧州株式厳選マザーファンド

銘柄	期首(前期末)		当期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ/フランス)	百株	百株	千ユーロ	千円	
AIR LIQUIDE	11	10	163	25,566	素材
DASSAULT SYSTEMES SA	510	444	1,837	287,929	ソフトウェア・サービス
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	35	30	2,609	409,046	耐久消費財・アパレル
SCHNEIDER ELECTRIC SE	29	25	408	64,080	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	587 4	511 4	5,018 -	786,621 <16.2%>
(ユーロ/ドイツ)					
BAYERISCHE MOTOREN WERKE AG	36	31	342	53,647	自動車・自動車部品
CONTINENTAL AG	14	12	91	14,366	自動車・自動車部品
DAIMLER TRUCK HOLDING AG	22	19	64	10,179	資本財
DEUTSCHE TELEKOM AG	378	327	638	100,127	電気通信サービス
MERCEDES-BENZ GROUP AG	45	39	284	44,562	自動車・自動車部品
SAP SE	62	54	691	108,391	ソフトウェア・サービス
SIEMENS AG	31	27	403	63,242	資本財
VITESCO TECHNOLOGIES GROUP A	2	2	20	3,149	自動車・自動車部品
ZALANDO SE	49	43	128	20,208	一般消費財・サービス流通・小売り
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	644 9	559 9	2,666 -	417,875 <8.6%>
(ユーロ/スペイン)					
AMADEUS IT GROUP SA	181	157	1,052	165,004	消費者サービス
INDITEX SA	275	239	817	128,188	一般消費財・サービス流通・小売り
REDEIA CORPORACION SA	222	193	294	46,134	公益事業
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	679 3	589 3	2,165 -	339,326 <7.0%>
(ユーロ/イタリア)					
BANCA GENERALI SPA	296	257	833	130,699	金融サービス
TERNA-RETE ELETTRICA NAZIONALE SPA	1,109	962	736	115,436	公益事業
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,405 2	1,219 2	1,570 -	246,135 <5.1%>
(ユーロ/フィンランド)					
ELISA OYJ	156	136	663	104,064	電気通信サービス
ORION OYJ-CLASS B	165	143	493	77,358	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	322 2	279 2	1,157 -	181,422 <3.7%>
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	4,913 26	4,274 26	17,314 -	2,713,735 <55.9%>
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	7,761 41	6,762 41	- -	4,562,189 <94.0%>

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額の< >内は、当期末の純資産総額に対する株式評価額の比率です。

(注3) 株数および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

(注4) 業種はG I C S分類(産業グループ)によるものです。なお、G I C Sに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

投資信託財産の構成

2023年7月20日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	4,562,189	89.9
コール・ローン等、その他	512,839	10.1
投資信託財産総額	5,075,028	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお7月20日における邦貨換算レートは、1米ドル139.70円、1イギリス・ポンド180.87円、1スイス・フラン162.92円、1トルコ・リラ5,199円、1デンマーク・クローネ21.03円、1ノルウェー・クローネ13.94円、1スウェーデン・クローナ13.63円、1ユーロ156.73円です。

(注2) 外貨建純資産(4,705,132千円)の投資信託財産総額(5,075,028千円)に対する比率は92.7%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年7月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	5,075,028,177円
コール・ローン等	512,839,112
株式(評価額)	4,562,189,065
(B) 負債	224,066,559
未払解約金	224,066,372
その他未払費用	187
(C) 純資産総額(A-B)	4,850,961,618
元本	2,262,757,806
次期繰越損益金	2,588,203,812
(D) 受益権総口数	2,262,757,806口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,438円

(注1) 期首元本額 2,643,197,653円
 期中追加設定元本額 45,319,487円
 期中一部解約元本額 425,759,334円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイ欧州株式厳選ファンド フルインベストメントコース 1,813,691,733円
 ニッセイ欧州株式厳選ファンド リスクコントロールコース 449,066,073円

損益の状況

当期(2023年1月21日~2023年7月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益	76,122,251円
受取配当金	73,446,608
受取利息	2,698,927
支払利息	△ 23,284
(B) 有価証券売買損益	860,534,230
売買益	993,079,510
売買損	△ 132,545,280
(C) 信託報酬等	△ 1,625,205
(D) 当期損益金(A+B+C)	935,031,276
(E) 前期繰越損益金	2,051,472,217
(F) 追加信託差損益金	44,788,947
(G) 解約差損益金	△ 443,088,628
(H) 合計(D+E+F+G)	2,588,203,812
次期繰越損益金(H)	2,588,203,812

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。